

—目次—

- 2026 年度研究大会(2026 年 11 月 14 日, 15 日)について
- 『ロシア・東欧研究』、『Japanese Slavic and East European Studies』投稿募集中
- JCREES サマースクール参加者募集
- 訃報
- 事務局からのお知らせ
- 最近の理事会の議事録より

2026 年度研究大会

11 月 14 日(土)、15 日(日)

津田塾大学(小平キャンパス)にて開催
共通論題報告テーマ、自由論題報告募集

1. 共通論題報告テーマ: 「戦後社会と国民生活」

直近 2 年間の研究大会では、ウクライナ戦争を直接のテーマとして扱ってきましたが、2026 年度研究大会では、戦後の国民生活に焦点を当てます。残念ながら、現時点では戦争終結の見通しは立っていません。それでも、次なるステップとして「戦後」を見据えた議論をしておくことは、重要な意味をもつと考えています。今回は、第一次世界大戦、第二次世界大戦、そして冷戦——あるいは体制崩壊——が、その後の社会に何をもたらし、人びとの生活にどのような影響を与えたのかを、国民生活の視点から問い直す歴史セッションを予定しています。パネリストについては、報告者のみならず、討論者、司会者にも素晴らしい方々にお引き受けいただいております。詳細についてはプログラムで発表いたしますので、ぜひご期待ください。

(企画委員長・藤原克美)

*2026 年度の企画委員会は、以下の会員で構成されています。藤原克美(委員長)、河本和子、松本かおり、宮川絹代

2. 自由論題報告募集(6 月 30 日締め切り)、若手会員には旅費等を支給 自由論題報告を希望される会員は、1 氏名、2 住所、3 電話番号、4 所属、5 報告タイトル、6 報告要旨(約 400 字)を 6 月 30 日(日)(必着)までに企画委員

会・藤原のメールアドレス(fujiwara.hmt*osaka-u.ac.jp *を@に変えてください)へメールでお知らせ下さい。なお、応募者多数の場合は、企画委員会にて人数調整を行う場合があります。また、大会の時期・形態に変更があり得ることにご注意ください。

自由論題報告を行う若手会員・非専任会員に旅費等の助成を行っています。5万円を上限として、交通費、宿泊費、懇親会費などが助成の対象となり、飛行機を利用したパック旅行も適用されます。院生はもとより、専任・常勤職を持たない会員も対象となります。応募する方は、報告の採択後に、学会サイトの「研究大会」ページから申請書をダウンロードして必要事項を記入し、学会事務局会計担当宛てに申し込んでください。原則として、事前申請であることにご注意ください。多くの会員の皆様のご利用をお待ちしております。

『ロシア・東欧研究』 『Japanese Slavic and East European Studies』 投稿募集中 締め切りは9月15日

『ロシア・東欧研究』と『Japanese Slavic and East European Studies』は、論文、研究ノート、書評の原稿を募集しています。『Japanese Slavic and East European Studies』は欧文雑誌となっております。**応募締切りは9月15日、原稿提出期限は11月末日**です。研究大会における自由論題報告者のみならず、多くの会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。投稿時点において40歳未満の方は、自動的に若手研究者奨励賞（賞状、副賞5万円）の選考対象となります。なお、投稿にあたっては、学会HPまたは学会誌巻末の「投稿規程・執筆要領」をご参照の上、遵守していただくようお願い申し上げます。

『ロシア・東欧研究』、『Japanese Slavic and East European Studies (JSEES)』は刊行後すぐに電子ジャーナル化されます。1972年の創刊号から、日本最大級の総合電子ジャーナル・プラットフォーム J-STAGE にて電子アーカイブ化が完了しております。

学会誌に掲載予定の書評は、学会ウェブサイトにて先行掲示を行うこととなりました。また、書評用の書籍は、事務局ではなく、編集委員会宛に直接ご送付いただきますようお願いいたします。ただし、書評として取り上げるかどうかは、編集委員会の判断によります。

問い合わせ・申込み先：

* 『ロシア・東欧研究』

jareesedboardjp@gmail.com

* 『Japanese Slavic and East European Studies (JSEES)』

k.kumo@[r.hit-u.ac.jp

*[@を@に変えてください

JCREES スラブ・ユーラシア研究 サマースクール参加者募集

2026年8月27日（もく）、28日（金）に、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターで開催される JCREES サマースクールの参加者募集が開始されました。

応募締め切りは6月1日です。

申し込み方法やプログラムなど詳細については、以下の URL をご覧ください。

<https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/jcrees/summer2026.html>

訃報

この間、当会の活動をさまざまな形でお支えくださいました、田子健先生、香川敏幸先生がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

事務局からのお知らせ

会員情報の登録・変更につきまして

2026年度は名簿作成の年にあたっております。登録情報の変更がある会員は、5月31日までに変更を行なってくださいようお願い申し上げます。

登録情報の変更は、学会HPの「会員ログイン（会員登録情報変更／年会費閲覧）」で行うことができます。

<https://asas-sys.jp/member/login/130c62518cb71d9c7c31c8cbb068dd530720864e>

会員ID、PWが不明の場合には、学会支援機構へお問い合わせください（jarees@asas-mail.jp）。

なお、名簿での情報公開を希望しない項目につきましては、登録情報の変更の中でお選びいただくことが可能です。また、会員種別の変更は学会HP上で行っていただくことができません。お手数ですが、直接、学会事務局にお知らせください。

最近の理事会の議事録より

（学会HP「会議」掲載済み）

2025年度第2回ロシア・東欧学会理事会（2025年3月13日開催）議事録

2026年3月16日作成

文責 事務局

出席者（五十音順、敬称略）

青島、安達、油本、五十嵐、宇山、大串、雲、小森、里上、志田、立石、田畑、高橋、服部、浜、伏田、中村、道上、横井

欠席者（委任状あり）

神原、廣瀬、湯浅

欠席者（委任状なし）

藤原、松里

○審議事項

1 会員異動について

事務局より、前回理事会から今回の理事会までの期間中での新入会員、退会者、休会者の報告があった。3年間会費未納者については、例年通り、メンバーシップより確認のメールを送る。

2 2025 年度中間決算と 2026 年度予算について

里上会計担当より 2025 年度中間決算と 2026 年度予算案の報告があり、了承された。

主な意見・質問

【研究大会参加に伴う旅費の補助申請について】

今回、日程・経路に不明な点がある申請が見受けられた。今後は申請書類等に、旅程が最短・最適であること、学会参加に直接関係のない私用が含まれる場合は助成対象外になりうることを明記して再発を防ぎ、申請は原則事前申請とすることが了承された。

【学会参加時の託児補助について】

他学会の制度や Web 情報などを参考にした上で、一人/1 日当たり 1 万円を上限に補助を出すことで了承された。

3 2025 年度研究大会の収支報告

里上会計担当より 2025 年度研究大会の収支報告があり、了承された。

4 2026 年度研究大会について

(1) 共通論題テーマと企画委員会

【共通論題テーマ】ここ数年、カレントなテーマが続いていたので、歴史を扱ってはどうかとの意見があった。①「東欧の意味」（東欧という分析枠組みについて再検討等）、②「戦争の後で」（歴史上の戦争を振り返り、戦後どのような課題があったのかを検討する）、といった案が出されたので、これらの案をベースに企画委員長にテーマの決定をゆだねることになった。

【企画委員会】これまでの企画委員会の構成などを踏まえ、藤原理事に企画委員長を打診することになった。他の委員については、企画委員長が決まった後、委員長より提案いただくことになった。

(2) 準備状況について

開催校（津田塾大学）側の諸事情により、小平キャンパスで開催されることとなった。

5 研究奨励賞について

【対象論文について】3 月 13 日時点で 1 本の論文が対象となっていることが報告された。

【2026 年度の選考委員会について】田畑理事に委員長をお引き受けいただいた。他の委員については、専門、エリア等に偏りがでないよう、委員長を中心に候補者を検討することになった。

○報告事項

1 会誌作成状況について

和文誌第 54 号は、特集論文 5 本、投稿論文 4 本、書評 4 本が入稿済みで、現在校正作業中との報告があった。欧文誌については投稿論文 1 本で、印刷用兼 HP 掲載用ファイルは完成済みとの報告があった。

2 JCREES

3 月 11 日に幹事会が開催された。

【スラブ・ユーラシア研究東アジア大会について】2026 年に九州大学にて開催予定であり、報告者の応募状況も含め、順調に準備が進んでいる旨報告があった。

【2026 年度のサマースクールについて】2026 年度は開催することになった。企画委員長を横井理事に引き受けいただいた。

【サマースクールの今後のあり方について】2027 年度以降のサマースクールについては継続審議となった。サマースクールの今後について、当学会からは様々な意見が出たことを報告。JCREES としても今後どのようにすべきかについては、加盟学会の意見を踏まえて検討するとのことであった。

3 JCASA

特になし。

その他

特になし。

《編集後記》

2026年度研究大会の自由論題報告の募集が始まりました。皆さまのご参加をお待ちしております。遠方からの参加を検討されている会員の皆様におかれましては、近年、東京の宿泊費も高騰しておりますので、早めのご準備をお願い申し上げます。

また『ロシア・東欧研究』、『Japanese Slavic and East European Studies』への投稿も募集中です。ぜひ投稿をご検討ください。

ロシア・東欧学会ニュースレター 第51号 (2026年5月発行)

《発行》ロシア・東欧学会事務局 小森宏美

郵便物送付先：〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1
神戸市外国語大学外国語学部ロシア学会伏田寛範研究室気付
E-mail : jarees_office@yahoo.co.jp HP : <http://www.jarees.jp/>

ゆうちょ銀行（加入者名：ロシア・東欧学会）：
郵便局での払込：00150-8-177731 他行からの送金：019店 当座預金 0177731

事務局会計担当（里上三保子） email: kaikei@jarees.sakura.ne.jp
学会支援機構（ロシア・東欧学会事務委託先） email: jarees@asas-mail.jp
よくあるご質問 <http://www.jarees.jp/faq/>